

12年の伝統を誇る 歓迎 英書講読の朝野ゼミ

〔英書講読〕RACHEL CARSON: SILENT SPRING

ご指導: 朝野洋一先生 (元放送大学茨城学習センター所長)

開催日: 毎月2回(日曜日) 9:30~11:30



RACHEL CARSON (1907-1964)

〔最終章を迎えた英書講読〕

Slow but steady の英書講読も、12年目、いよいよ最終の章に入りました。米国の環境保護政策の原典となったこの名著は佳境を迎えております。

〔次は Carson: The SEA Around Us の世界へ〕

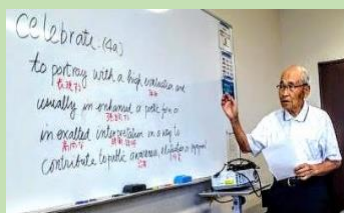
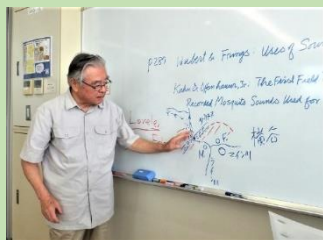
2020年からは、Carson の 名声を決定づけた The SEA Around Us にチャレンジします。本書が、1950年に出版されるや、爆発的な人気を呼び、今日まで読み継がれている名作です。

〔ゼミ生から一言 ゼミで学んだこと〕

- 著者が60年も前から指摘していた問題が現実味を帯びている。「沈黙の春」が決して杞憂でないことを願っている。
- 朝野先生の解説により世界地図に小鳥や昆虫の生態をイメージして興味が深まってきた。
- リカジョにも読み応えある内容に魅せられる。
- しっかりした構文、適切な単語の選択などから著者の真意が伝わってくる。
- 文学的な表現で表現される科学的な内容にその影響力の秘密を実感。
- 大学院の受験準備に大変効果があった。

〔ゼミ生から一言 ゼミで学んだこと〕

- 米国MITの線形代数学(原書)の輪読で、原文を英文法に基づき、丁寧に解釈するようになった。
- ゼミでは、音読をするので、発音の勉強になる。立派な原文は、文法の勉強にも最適。
- 豊富な内容により語彙の充実に効果大。
- 英文解釈に慣れてきて、学生時代の感覚が蘇ってきた。
- 豊富な参考文献に著者の研究の深さを実感、原文の真の理解に助けられる。
- 英英辞典の有り難さを痛感。



ゼミ生の報告もさることながら、原書の真の理解には、朝野先生の解説が欠かせない。

多彩な参加者で話題が尽きない。